

かながわ

看護連盟通信

No.
72

Kanagawa
Nursing league Letter

発行：令和2年2月1日

新年のおよろこびと
申し上げます

今年も会員になつてね!!



新年のごあいさつ



神奈川県看護連盟会長 奥本 信子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年の参議院選挙では石田まさひろ参議院議員が皆様の大きなご支援を受けて、2期目の当選を果たすことができました。

現在、石田まさひろ議員は厚生労働委員会筆頭理事として、母子保健法の改正に尽力し成立了。これにより産後ケア事業の実施を市町村の努力義務とし、心のケアや育児相談などをきめ細かく取り組むほか、産後ケアセンターの整備が盛り込まれ、保健師、助産師、訪問看護師などが活躍していくことになります。

看護職が働いている職場は様々です。現場の声を議員に届け、看護職が明るく生き生きと働き、県民の健康に貢献できるよう前に向かって進んでいきましょう。



日本看護連盟会長 大島 敏子

謹んで新年のお慶びを申し上げます

台風19号の大風の被害、生活再建は如何でしょうか?

第25回参議院選挙では、石田まさひろ参議院議員二期目の当選を果たし、神奈川県会員の皆様が地元の市会・議会会員さんとの連携で信頼関係を育み、地道な活動のおかげと感謝しています。

日本看護連盟創立60周年を迎える子年は、新しい生命力創造で「子孫繁栄」。会員増で、看護職の地位向上をめざして参りましょう。



公益社団法人神奈川県看護協会会长 花井 恵子

新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

地域包括ケアの推進、看護職の定着・確保対策、職場環境改善、激化する自然災害への対応など、スピード感を持って取り組む課題が山積しています。挑戦・発信・魅力ある職場づくりを目指して、今年も連盟の皆さまと力を合わせて取り組んで参りたいと思います。



公益社団法人川崎市看護協会会长 広瀬 壽美子

新年、あけましておめでとうございます。

令和となって初めての年明けです。川崎市看護協会では、干支に因んで会員を増やし事業活動を推進してまいりたいと考えております。

本年も連盟の皆様と連携を図らせていただきながら、看護の問題や課題を取り組んで参りたいと思います。本年もよろしくお願ひ致します。

自民党文部科学部会長 参議院議員 たかがい 恵美子

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。神奈川県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。平成から令和への御代がわりを経て今夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとあって、日本はいま世界で最も注目される国となっています。国政においては、国民に寄り添う豊かな成熟社会を実現するための2040年に向けた新たな社会保障制度設計の議論が進められています。これから看護職が地域の様々な場所で個性と専門性を活かして活躍できるよう制度整備することや、貴重な看護人材を育てる基礎教育の充実と一人ひとりの生涯を通じたキャリア形成支援の仕組みを整えていくことなど、私たちが取り組むべき政策課題は無限にあります。看護の可能性のさらなる拡がりを信じ、各々の笑顔が輝く未来に向けて、お互い支え合い力を合わせてがんばりましょう。皆様のご健勝とご繁榮を心から願い、幸多き一年となることを祈念申し上げ、ご挨拶いたします。本年もよろしくお願ひいたします。



厚生労働委員会筆頭理事 参議院議員 石田 まさひろ

神奈川県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。今年は夏のオリンピックが56年ぶりに日本にやってくる大きな年。2020年がすばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は皆様のお力を頂き、二期目の当選を果たすことができました。選挙期間中は17日間で47都道府県を回させていただき、皆様から温かな声援を頂戴しました。一票一票の重みをしっかりと感じながら、自らの行動で皆様の期待に応えていく所存です。



昨年9月には、参議院において二度目の厚生労働委員会筆頭理事を拝命いたしました。他の会派(野党)との調整を行う、緊張感の高い役割を再び務めることができるのは、身の引き締まる思いです。議論をしっかりと前に進めていけるよう、鋭意、力を尽くしてまいります。

また、自民党においては副幹事長という役割も拝命しました。党の運営には欠かせないポジションですので、しっかりと努めて参ります。

そして当選直後から再び全国を飛び回っております。皆様からの温かいお言葉、そして「現場の声」は私の活動の原点です。その声を国に届け、看護職が「今日も良い看護ができた!」と実感できる環境づくりのために、この六年間、再び尽力してまいります。

看護職の皆様、現場の皆様と共に手を携え活動してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

衆議院議員 あべ 俊子

お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

新年の清々しい空気にも、国会議員としての初心が熱く思ひ起こされます。昨年の自由民主党新人では国会対策副委員長を拝命いたしました。社会保障改革の節目となる年に、縦横無尽に活動できる役職を頂けましたのも、貴連盟のご支援あってのことと、感謝申しあげます。

日本の社会保障は大きな転換期を迎え、看護職の働き方についても変化を求められています。医療の世界においてもデジタル化が進んでおりますが、患者とその家族に温もりを届けるという、看護職の役割を忘れる事はできません。

今年も、患者を中心とする看護の実現に向けた職場環境の整備に尽力して参りますのでご指導よろしくお願い申し上げます。



総務大臣政務官 衆議院議員 木村 やよい

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新たな元号・令和の時代が始まり、9月の改造内閣で総務大臣政務官を拝命した、忘れられない年となりました。

そんな私の今年の抱負は、「繋」です。申しますのも、私の総務省での担当は、情報通信、放送行政、郵政行政。人と人を、人とモノを、電波や光ケーブルや様々な手段を使って「つなげる」仕事です。

人と人を「つなげる」という点は、看護の仕事も同様です。

これからも女性、母親、看護職の視点を生かし「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、看護職議員として、看護と政治をつなぐ役割を果たしてまいります。

本年も、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



8月29日(木)、
石田議員が当連盟を
訪問した折に、助産師から
産後ケアの問題を要望し、
石田議員も前に進める事を
約束しました。

知ってほしい 現場の声

開業助産師からの提言

～産後ケア事業について～

現代社会の中で産後の母親は、社核家族化や支援者の高齢化また支援者不在などで、心身のバランスを保つ事が困難な状況にあります。

特に、産科医療の現場から家庭に戻る移行期に育児不安が強くなったり、授乳がうまくいかない状況が起きてきます。そして、産後の支援も受けられない状況が発生しています。そのような産後の母子を支援するための事業が産後ケア事業です。

この事業は、地域において助産師や保健師といった専門職の継続したケアが受けられます。これは国の事業でもありますが、各市町村により取り組み方に違いがあります。

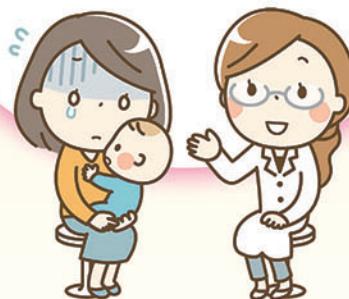
産後ケア事業の目的

授乳のアドバイスや乳房ケア等の「母親の身体的な回復のための支援」母親の話を傾聴する等の「母親の心理的な支援」があります。



産後ケア事業の実施機関

各医療機関・助産院となっており、そのうち助産院を利用する母親は、出産後の身体的な不調や回復の遅れがあり休養の必要がある者、授乳が困難である者、出産後の心理的な不調があり身近に相談できる者がいる等です。



しかし、一方で、医療的介入の必要がある母親は、利用できないのが現状です。

精神疾患の診断がなされても、日常生活がおくれ家庭での育児が可能な母親もいる反面、日常生活や育児に支障をきたす母親も多くいる。

そのような母親は産後ケアの利用対象者にはならないのです。

最近、産後うつの自殺者や母親（父）から虐待を受けている乳幼児の問題が取り上げられています。

このような状況を見て、医療介入の必要がある母親の産後ケア事業の利用も取り組むべき課題だと考えています。

令和元年度 第2回 研修会終了

日 時 1月18日(土) 13:30 ~

場 所 神奈川県立県民ホール本館6階 会議室

当日はみぞれ交じりの寒い天候で多くの欠席者を予定しましたが参加者は60名。

1部2部いずれも興味深くまた、真剣に聞き入りました。

第1部

看護の未来 「これからの看護環境」

第1部の講師には東京大学大学院医学研究科健康科学・看護学専攻 博士課程の野寄修平先生をお招きし、これからの看護環境についてお話を伺いました。

ICT:HMD（ヘッドマウントディスプレイ装置の事）

末梢静脈カテーテル留置に伴って生じる点滴漏れなどはHMDと超音波など使う事で、目視で確認できない血管が可視化でき血管留置が容易にできるようになる。

IOT:ベットで尿意を推定する

高齢者における尿失禁とケアについては、脈拍と無意識の体動に着目し、脈拍変動と無意識の体動が尿意を推定するなどである。

AI:人工知能 ML:機械が学習する

何やら難しそうな言葉が飛び出しましたが、看護現場での実用化に向けて様々な研究が進んでいるとのことです。

医療におけるAIは、一人の人間には追いつかれないスピードで知識が増加し、今後看護現場の中でICT・IOT・AIの活用が進んでいくと実感しました。

一つとしたら誰かさんに怒られる。

第2部

青年部の取組み 「これからの看護に必要な事」

第2部 青年部の高橋望美さんが青年部の取組みについて報告を行いました。

看護師10年のベテランですが、連盟活動には関心もなかったと。

「給与が少ない」「勤務環境が…」と現場で不満を言うだけでは解決できない。

解決するには政治に働きかけることが必要であることが分かった。知らなかった。

ポリナビワークショップに参加し青年部での活動を知る事が出来た。だから青年部の今年の目標は「知るを伝える」にした。

今後の課題として、施設での任期が2年の持ち回りであり、継続して行えなくなるのではと心配をしている。そこもまた良い方法を考えていきたいと話していた。



茨城県ポリナビと 関東甲信越青年部ブロック会議に参加して

2019年12月14日(土) 13:00から茨城県水戸市で開催した、
ポリナビとブロック会議に神奈川県からは5名が参加しました。

ポリナビの会場では①意見交換 ②健康体操 ③茨城ご当地クイズの3エリアをまわりながら、他都道府県の方との交流を深めた後、グループワークそして発表を行いました。

テーマは「未来の看護を考える」です。

発表後アドバイザーである、たかがい恵美子議員から看護職の地位向上の取り組みや現場の意見交換の重要性など熱いエールを頂きました。

青年部ブロック会議では、今後の青年部の活動の方向性などの意見交換が活発に行われました。他県の活動や課題を知る貴重な機会となりました。

神奈川県青年部は今回の学びを活かし、未来に向けての活動目的や内容の充実に努めていきたいと思います。



9月よりメンバー7~8人で月1回程度ボランティア活動を開始しています。

現在、クロスハート栄・横浜（特別養護老人ホーム）でコーラスを披露しています。

3フロアをまわり入居者の皆さんと懐かしい歌を歌います。

今では待っていてくれる方もおり、逆に私たちが元気を頂いているようです。



ひまわりの会から
報告

国会見学

日にち

令和元年11月1日 (金)

参加者

58名



国会議事堂はもちろんの事、
参議院予算委員会室の
見学もできました。

今回初めての集合写真です。



— 看護職の方が監修しました —

MY-KAMINKET

マイカミンケット

仮眠・休憩に最適な寝袋

GOOD DESIGN AWARD 2019年度受賞

「HARIO DOWN」は2019年度グッドデザイン賞を受賞しました。

ブルー ピンク オレンジ

夜間勤務者にとって
仮眠・休憩は大切な時間
の一つです。



NPO法人
看護職キャリアサポート
フリージア・ナースの会
会長 大島 敏子先生

寝1袋 ケット クッション 3Way

東洋羽毛首都圏販売株式会社横浜営業所
〒241-0031神奈川県横浜市旭区今宿西町1952-1
リーコル 0120-00-7663
東洋羽毛工業ホームページ<http://www.toyoumo.co.jp>

会員減少で神奈川県看護連盟は 危機を迎えています!



毎年200人が退会しています。
十分な活動ができません。



看護職の身分や労働条件は、殆ど法律で決められています。

この問題を前進させるには、我々団体がいくら声を大きくして厚労省に要望しても、殆ど前進しません。

厚労省に掛け合うには、看護の経験もあり熟知している看護職の国会議員が必要です。

看護職の国会議員でないと、看護が抱えている問題は少しも前進しません。

この看護職の国会議員に頼るしかないので。

我々団体のみで行うのとは、雲泥の差があります。

そのために全国に看護連盟はあるのです。

連盟に動く力がないと前進しません。

看護連盟は、いわゆる労働組合ではありません。

法律や政令などを変えて、看護職の身分や労働条件を改善するためにあるのです。

ぜひ退会しないで
続けて会員になって
ください。
お願いします。



入会案内

令和2年度 看護連盟会員募集

一人でも多くの方の
入会により、現場の声を
国政に反映させましょう



正会員

年会費 9,000円
(7,000円)

看護協会会員である人
日本看護連盟／5,000円
神奈川県看護連盟／4,000円 (70歳以上の方は2,000円)

特別会員

年会費 9,000円
(7,000円)

正会員の経験を有し、未就業で現在看護協会会員でない人
日本看護連盟／5,000円
神奈川県看護連盟／4,000円 (70歳以上の方は2,000円)

賛助会員

1 □ 1,000円
※何口でも可

看護連盟の主旨に賛同する人 (看護職でなくても入会可)

学生会員

年会費 無 料

看護学生で看護連盟の主旨に賛同する人

お問い合わせ

事務局

TEL(045)263-2801 FAX(045)263-2802
e-mail:office.kanagawa@kango-renmei.gr.jp



昨年は元号が令和に代わり、参議院議員選挙があり目まぐるしい1年でした。
今年は落ち着いて、看護の未来から目をそらさずに、しっかりと連盟活動をしていきたいと思います。

広報委員

小柳 正子 山内美智子
畠山 友子 中村 茂雄